



# 霧が丘

令和5年11月24日  
横浜市立義務教育学校  
霧が丘学園  
校長 根岸 淳

仲間とともに ～義務教育学校のよさを生かして～

副校長 吉田 岳雄

霧が丘のまちの木々も色とりどりに、秋の深まりを感じる頃となりました。

小学部では10月21日(土)に「きりっ子運動会」、中学部では10月26日(木)・27日(金)に「あすなろ(学習発表会)」を開催しました。さわやかな気候のもと、子どもたちの頑張りがたくさん見られる本校ならではの行事となりました。また、10月31日(火)には、第2回のきりたまタイムで小中の交流がありました。

きりっ子運動会の「きりっ子パワー」というスローガンの「パワー」の中には、「全力、元気、協力、勇気」という思いが込められています。練習から続けて活動してきた子どもたちの姿の一つひとつに、「パワー」がたくさん表れる場面がたくさんありました。学年ごとの演技からは、自分の動きが高まった最高の姿を見てもらいたいという思いが感じられました。ここ数年できなかった全校種目「心をついに大玉パワー」の前には、運動委員会の各色のリーダーを中心に「ゴーゴーゴー」の応援歌で場内が一体となって盛り上がり、華やいだ瞬間でした。閉会式の児童代表の「仲間と協力する大切さと全力で楽しむよさを感じ、すべてをやり通せた」というすがすがしい挨拶の言葉からも当日に向けて練習を重ね、力を発揮できたことが伝わってきました。



「あすなろ」のスローガンは「煌星～一人ひとりが輝く最高の星空を…～」でした。実行委員長の説明にもあるように、一人ひとりを星と例えて「あすなろ」を全員が輝かせられるようにという思いが込められていました。各クラスを星座に見立て、見ている人が宇宙旅行をしているような雰囲気になれるようにと、紹介の仕方にも工夫を凝らしていました。私は初めて参加しましたが、一つの劇を皆で創り上げるという活動を通して、それぞれの持ち場での多くの探求が積み重なっていくこの学習の価値を大いに感じ、心を動かされました。生徒たちは、仲間とともにやり遂げたこの経験を一生忘れないだろう、と思いました。また、小学部の児童も鑑賞する機会がもて、小中のつながりを大切にしたい次への意欲へとつながる時間となりました。



また、第2回のきりたまタイムでは、1年生から9年生まで全員が小学部の校庭に集まり、たてわり班でのレクリエーションを行いました。ボール運びとフラフープくぐりの二つのゲームでしたが、他の学年の仲間とも協力し、互いを応援し合いながらの活動となりました。いつもの学級の仲間とは違う学年の枠を超えた仲間と関わり合うなかで、相手のことを考えて協働することのよさを感じるという目的をもって活動することができました。

これらの活動のひとつこまひとつこまに、小学部の児童が中学部の生徒の様子を見てすごいな、と思う場面や、中学部の生徒が小学部の児童を前に上級生としての意識が高まる場面がありました。つながりを大切にしたい活動が展開できることは義務教育学校である本校の強みです。1年生から9年生が一体となり、ひとつの学園として子どもたちがそのよさを実感し、さらに意欲を高めていけるよう努めてまいります。保護者や地域の皆様のお力添えのほど、引き続きよろしくお願いいたします。

<霧が丘学園ホームページ>

※各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード